

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月30日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 エイジス

コード番号 4659 URL <http://www.aiis-group.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 齋藤 昭生

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長

(氏名) 西岡 博之

TEL 043-350-0567

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	9,087	△0.0	344	△54.8	364	△53.5	130	△67.6
24年3月期第2四半期	9,091	4.1	763	△10.9	784	△11.4	403	△6.7

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 142百万円 (△66.3%) 24年3月期第2四半期 423百万円 (2.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	27.01	—
24年3月期第2四半期	83.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	10,639	7,700	72.1
24年3月期	10,777	7,805	72.2

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 7,676百万円 24年3月期 7,781百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,387	△0.6	779	△44.7	812	△43.8	346	△43.4	71.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有

新規 2社 （社名） AJIS(HONG KONG)CO., LIMITED
AJIS (THAILAND)COMPANY LIMITED 、 除外 1社 （社名）

(注)詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

(注)詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 有
- ④ 修正再表示 ： 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	5,385,600 株	24年3月期	5,385,600 株
25年3月期2Q	543,840 株	24年3月期	543,782 株
25年3月期2Q	4,841,787 株	24年3月期2Q	4,841,892 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	4
3. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
四半期連結損益計算書.....	7
四半期連結包括利益計算書.....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	10
(6) セグメント情報等.....	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等により緩やかな回復基調が見られました。しかしながら、欧米の財政問題、長引く円高および株価低迷等から、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの主要顧客であります流通小売業界においては、一部に企業業績の改善は見られるものの、流通小売業界全体での業態・業種を超える競争により、厳しい経営環境が続いております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、前連結会計年度より、報告セグメントの区分を変更しており、前連結累計期間との比較は変更後の区分により作成した情報に基づいて記載しております。

①国内棚卸サービス

国内棚卸サービスにおいては、前期に引き続き「独自技術を身につけたプロフェッショナル集団の構築」を目指し、品質向上に努めてまいりました。また地域密着営業を行い、顧客開拓を推進してまいりました。しかしながら、震災の影響による損害確定や直近在庫の確定を必要とする臨時棚卸が平常化したこと、および単価下落等により、売上高は7,835百万円（前年同四半期比2.2%減）となりました。利益面は、単価下落を生産性の向上で補えなかったこと等により、セグメント利益は503百万円（前年同四半期比37.3%減）となりました。

②海外棚卸サービス

海外棚卸サービスにおいては、第1四半期連結会計期間より新規連結したAJIS (HONG KONG) CO., LIMITEDおよびAJIS (THAILAND) COMPANY LIMITEDの2社を含め、売上増加基調で推移しておりますが、利益面では販売費及び一般管理費をカバーするまでに至らず厳しい状況が続いております。売上高は373百万円（前年同四半期比10.1%増）、セグメント損失は165百万円（前年同四半期比157百万円の損失増加）となりました。

③リテイルサポートサービス

リテイルサポートサービスにおいては、増収傾向が続いておりますが、利益面では販売費及び一般管理費をカバーするまでには至っておりません。売上高は878百万円（前年同四半期比19.2%増）、セグメント損失は14百万円（前年同四半期比23百万円の損失減少）となりました。

これらの結果から、当第2四半期連結累計期間における売上高は9,087百万円（前年同四半期比0.0%減）、営業利益は344百万円（前年同四半期比54.8%減）、経常利益は364百万円（前年同四半期比53.5%減）、四半期純利益は130百万円（前年同四半期比67.6%減）となりました。

当社グループの売上高の特徴として、国内棚卸サービスの閑散期である第1四半期連結会計期間および第3四半期連結会計期間の売上高は少なく、国内の主要な顧客であります流通小売業界の決算が集中する第2四半期連結会計期間および第4四半期連結会計期間は繁忙期となり売上高が多くなる傾向があります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は10,639百万円（前連結会計年度比1.3%減）となりました。これは、主として売掛金が減少したことによるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における総負債は2,938百万円（前連結会計年度比1.1%減）とな

りました。これは、主として給与の未払金が減少したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は7,700百万円(前連結会計年度比1.3%減)となりました。これは、主として配当金の支払により、利益剰余金が減少したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、3,240百万円(前年同四半期比125百万円の増加)となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は、519百万円(前年同四半期比17.3%減)であります。その主な内訳は、収入要因として税金等調整前四半期純利益が303百万円、売上債権の減少額が157百万円、支出要因として法人税等の支払額が206百万円であります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果獲得した資金は、79百万円(前年同四半期は737百万円の使用)であります。その主な内訳は、収入要因として定期預金の払戻による収入1,500百万円、支出要因として定期預金の預入による支出1,306百万円であります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、245百万円(前年同四半期比22.0%減)であります。これは、主として配当金の支払額217百万円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

国内棚卸サービスの売上高については、当上半期は震災の影響による損害確定や直近在庫の確定を必要とする臨時棚卸が平常化することを想定していたものの、単価下落等により減収となりました。

一方、利益面については、単価下落を生産性の向上で補えなかったこと等により減益となりました。この基調は下半期も続くものと予測しており、5月10日発表の通期業績予想を下記のとおり修正いたします。

平成25年3月期の通期連結業績予想の修正

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	19,170	1,312	1,355	670	138.57
今回発表予想(B)	18,387	779	812	346	71.46
増減額(B-A)	△783	△533	△543	△324	—
増減率(%)	△4.1	△40.6	△40.1	△48.4	—
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	18,506	1,409	1,444	611	126.29

(参考)

平成25年3月期の通期個別業績予想の修正

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	一株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	16,400	1,632	858	177.30
今回発表予想(B)	15,860	1,025	519	107.19
増減額(B-A)	△540	△607	△339	—
増減率(%)	△3.3	△37.2	△39.5	—
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	16,165	1,501	579	119.61

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

AJIS(HONG KONG)CO., LIMITEDおよびAJIS (THAILAND)COMPANY LIMITEDについては、当社グループにおいて重要性が増したことにより、第1四半期連結会計期間から連結の範囲に含めております。

※AJIS(HONG KONG)CO., LIMITED

主な事業内容 棚卸サービス

資本関係 当社100%出資

※AJIS (THAILAND)COMPANY LIMITED

主な事業内容 棚卸サービス

資本関係 当社99.9%出資

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

当該変更に伴う当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,540,070	4,766,570
受取手形及び売掛金	2,671,466	2,512,052
貯蔵品	53,418	44,677
その他	310,883	267,181
貸倒引当金	△300	△300
流動資産合計	7,575,539	7,590,181
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,234,540	1,234,540
その他(純額)	800,573	800,506
有形固定資産合計	2,035,113	2,035,046
無形固定資産	350,885	292,076
投資その他の資産		
その他	823,674	729,712
貸倒引当金	△8,041	△7,907
投資その他の資産合計	815,633	721,804
固定資産合計	3,201,632	3,048,928
資産合計	10,777,171	10,639,109
負債の部		
流動負債		
短期借入金	97,680	101,874
1年内返済予定の長期借入金	60,000	60,000
未払金	1,581,913	1,530,579
未払法人税等	229,457	194,451
賞与引当金	302,861	356,352
役員賞与引当金	3,080	1,806
その他	520,490	544,761
流動負債合計	2,795,484	2,789,825
固定負債		
長期借入金	105,000	75,000
退職給付引当金	1,142	3,344
その他	70,217	70,221
固定負債合計	176,359	148,565
負債合計	2,971,844	2,938,391

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	475,000	475,000
資本剰余金	489,665	489,665
利益剰余金	8,205,729	8,089,268
自己株式	△1,307,983	△1,308,047
株主資本合計	7,862,411	7,745,885
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△38,487	△23,184
為替換算調整勘定	△42,815	△46,620
その他の包括利益累計額合計	△81,302	△69,805
少数株主持分	24,219	24,637
純資産合計	7,805,327	7,700,718
負債純資産合計	10,777,171	10,639,109

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	9,091,670	9,087,632
売上原価	6,757,514	7,076,659
売上総利益	2,334,156	2,010,972
販売費及び一般管理費	1,570,220	1,666,033
営業利益	763,935	344,938
営業外収益		
受取利息	1,877	2,008
受取配当金	5,949	5,924
受取賃貸料	10,078	11,106
その他	11,932	10,267
営業外収益合計	29,838	29,306
営業外費用		
支払利息	2,162	2,961
賃貸費用	5,870	5,965
その他	1,620	795
営業外費用合計	9,653	9,723
経常利益	784,119	364,522
特別損失		
災害による損失	10,483	—
固定資産除却損	715	15,716
投資有価証券評価損	47,424	44,877
関係会社株式評価損	16,400	—
特別損失合計	75,023	60,594
税金等調整前四半期純利益	709,096	303,928
法人税等	305,384	172,811
少数株主損益調整前四半期純利益	403,712	131,116
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△108	319
四半期純利益	403,820	130,797

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	403,712	131,116
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24,825	15,302
為替換算調整勘定	△5,491	△3,807
その他の包括利益合計	19,333	11,494
四半期包括利益	423,046	142,611
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	423,154	142,294
少数株主に係る四半期包括利益	△108	316

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	709,096	303,928
減価償却費	155,851	138,592
固定資産除却損	715	15,716
災害損失	10,483	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	62,489	53,554
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△56,423	△1,273
退職給付引当金の増減額(△は減少)	193	2,271
受取利息及び受取配当金	△7,826	△7,933
支払利息	2,162	2,961
投資有価証券評価損益(△は益)	47,424	44,877
関係会社株式評価損	16,400	—
売上債権の増減額(△は増加)	△282,235	157,504
未払金の増減額(△は減少)	160,264	△53,188
未払消費税等の増減額(△は減少)	22,449	△35,794
その他	20,550	99,084
小計	861,595	720,301
利息及び配当金の受取額	7,256	8,067
利息の支払額	△1,878	△3,098
法人税等の支払額	△213,174	△206,172
災害損失の支払額	△25,846	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	627,952	519,097
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,114,126	△1,306,725
定期預金の払戻による収入	713,518	1,500,700
有形固定資産の取得による支出	△57,703	△44,276
有形固定資産の売却による収入	15,171	8,193
無形固定資産の取得による支出	△98,794	△28,784
関係会社株式の取得による支出	△215,588	△39,909
差入保証金の差入による支出	△20,347	△25,865
差入保証金の回収による収入	35,306	16,357
その他	5,206	△389
投資活動によるキャッシュ・フロー	△737,357	79,300
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△67,031	2,427
長期借入金の返済による支出	△30,000	△30,000
自己株式の取得による支出	△11	△64
配当金の支払額	△217,124	△217,418
財務活動によるキャッシュ・フロー	△314,167	△245,055
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,239	△2,031
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△424,812	351,311
現金及び現金同等物の期首残高	3,518,044	2,820,384
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	21,778	68,801
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,115,010	3,240,498

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	国内棚卸サービス	海外棚卸サービス	リテイルサポートサービス	合計
売上高				
外部顧客への売上高	8,015,335	339,132	737,202	9,091,670
セグメント間の内部売上高又は振替高	9,595	—	1,799	11,395
計	8,024,931	339,132	739,002	9,103,065
セグメント利益又は損失(△)	803,695	△7,892	△37,800	758,001

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	758,001
セグメント間取引消去	5,933
四半期連結損益計算書の営業利益	763,935

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	国内棚卸サービス	海外棚卸サービス	リテイルサポートサービス	合計
売上高				
外部顧客への売上高	7,835,591	373,429	878,611	9,087,632
セグメント間の内部売上高又は振替高	10,885	—	7,245	18,131
計	7,846,477	373,429	885,856	9,105,763
セグメント利益又は損失(△)	503,711	△165,678	△14,157	323,874

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	323,874
セグメント間取引消去	21,063
四半期連結損益計算書の営業利益	344,938

3 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度から、「その他」に含まれていた「海外棚卸サービス」と「リテイルサポートサービス」について、投資家に対する積極的開示の観点から報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

以上